


# てんてん ココロの広場に行く



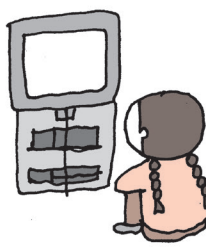
ほそかわ てん てん  
細川 貂 々

私は高校3年生の夏休み




家から一歩も外に出ませんでした

自分の部屋で一日中録画したアニメを見ていました



そのためにバイトして自分の用のテレビとビデオとレーザーディスクを買った


夏なのに長そでのトレーナーと長スボン



毎日同じものを着つけました

せんぷう機はまわす

部屋から出るのは食事とフロとトイレの時だけ



細川貂々(ほそかわ・てんてん) 1969年生まれ。セツ・モードセミナー卒業後、漫画家、イラストレーターとして活動。「ツレがうつになりまして。」が大ベストセラーに。「それでも母が大好きです」、「わたしの主人公はわたし」、「日帰り旅行は電車に乗って 関西編」、「生きづらいでしたか?」など著書多数。

アニメにあきると  
大好きな三島由紀夫の  
小説を読み

美しい  
なんて  
美しい  
文章

キラキラ輝いて  
夏のひざしみたい

やたらと  
ときめいてました

そして三島が切腹  
したので

ミシマ  
さいごまで  
美しい

私も死ぬ時は  
切腹しよう

とあこがれました

6じょうひとまの  
空間が  
何をしてもよくて  
何を考えてもいい  
私の王国でした

夏休みがおわると  
じごくのような日常に  
戻りました

この  
生きじごくを  
どうやりすご  
そう？

↑  
いつもこのこと  
を考えてた